

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 「適応的最適化による推測・変動データからの意思決定」

2. 個人研究者名

福永 拓郎（中央大学理工学部 准教授）

3. 事後評価結果

センサーデータや推定情報といった変動性や不確実性を持つデータから、意思決定システムにおいて重要な「計画の策定・判断」をする基盤技術を、適応的最適化を用いて開発することを目指した。実用的かつ汎用性に優れたアルゴリズムの構築だけでなく、情報の取得・推定方法自体の研究や、具体的なユースケースでの有用性の検証を行った。

適応的最適化の理論と効率的なアルゴリズムの設計基盤を、学術的に高いレベルで達成したと認められる。また、単なる理論にとどまらず、社会システムへの貢献を見据えて配送計画問題を取り上げ、従来の手法との比較を行った姿勢も評価できる。

今後は多様な実データでの検証や実環境への適応を期待したい。最適化は理論研究から社会的な応用がイメージしやすい分野である。現状でも、現実的な時間でどの程度の複雑な問題まで解けるかを示し、企業への理解を広げることで、新しい応用可能性や共同開発が推進されると考えられる。